

SHIMA
SHIMA PRODUCT

ショッピングカート メロディ スムーズ KBR

[取扱説明書] [保管用]

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は買い物に使用するショッピングカートです。

歩行を補助するシルバーカーではありません。自立歩行のできない人（例：手すり等につかまらなければ歩行できない人）のご使用には適しません。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、よくご理解の上ご利用ください。
読んだ後は大切に保管し、必要に応じてお読みください。

目 次

ご使用の前に	1	4. 駐車用ストッパの操作方法	4
警告事項	1	5. キャスターの操作方法	5
注意事項	1	6. バッグの取り付け方法	5
ご使用上の注意	2	7. バッグの使用について	6
1. 各部の名称	3	8. 傘止めバンドの使用方法	6
2. 高さ調節と収納方法	3	故障かなと思ったら	6
3. 使用方法	4	保証書	7

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所 サービス係 ☎06-6793-0991

ご使用前に 必ずお読みください。

体の状態によっては危険な場合もありますので、使用できるかを、ご自身でご判断ください。

転倒や故障防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

警告事項

- この製品はショッピングカートです。歩行を補助するシルバーカーではありません。
- 雨・雪・凍結など、滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、及び夜間の使用は十分注意してください。
- 走って使用しないでください。転倒や事故につながる恐れがあり、大変危険です。
- 溝・坂道・道路などの、高低差のあるところでは十分注意してください。
- 段差や溝のあるところでは、転倒やつまずきの恐れがありますので、十分注意して持ち上げるかスロープのあるところで使用してください。
- 段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、十分注意をしてご使用いただくか、持ち上げて横断してください。
- 製品の組立て、及び調整は確実に行ってください。
- 製品が完全に組立てられた状態であることを確認の上、ご使用ください。
- ハンドルの高さ調節部(左右)が、確実に固定されているか確認してください。正しく固定されていないと、ハンドルに上から力を加えたとき、ハンドルが不意に縮んでしまい、大変危険です。
- ハンドルに過度に荷重をかけると、転倒する恐れがあるため、過度に荷重をかけないでください。
- エスカレーターでの使用は十分注意してください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社サービス員以外の分解・改造はしないでください。

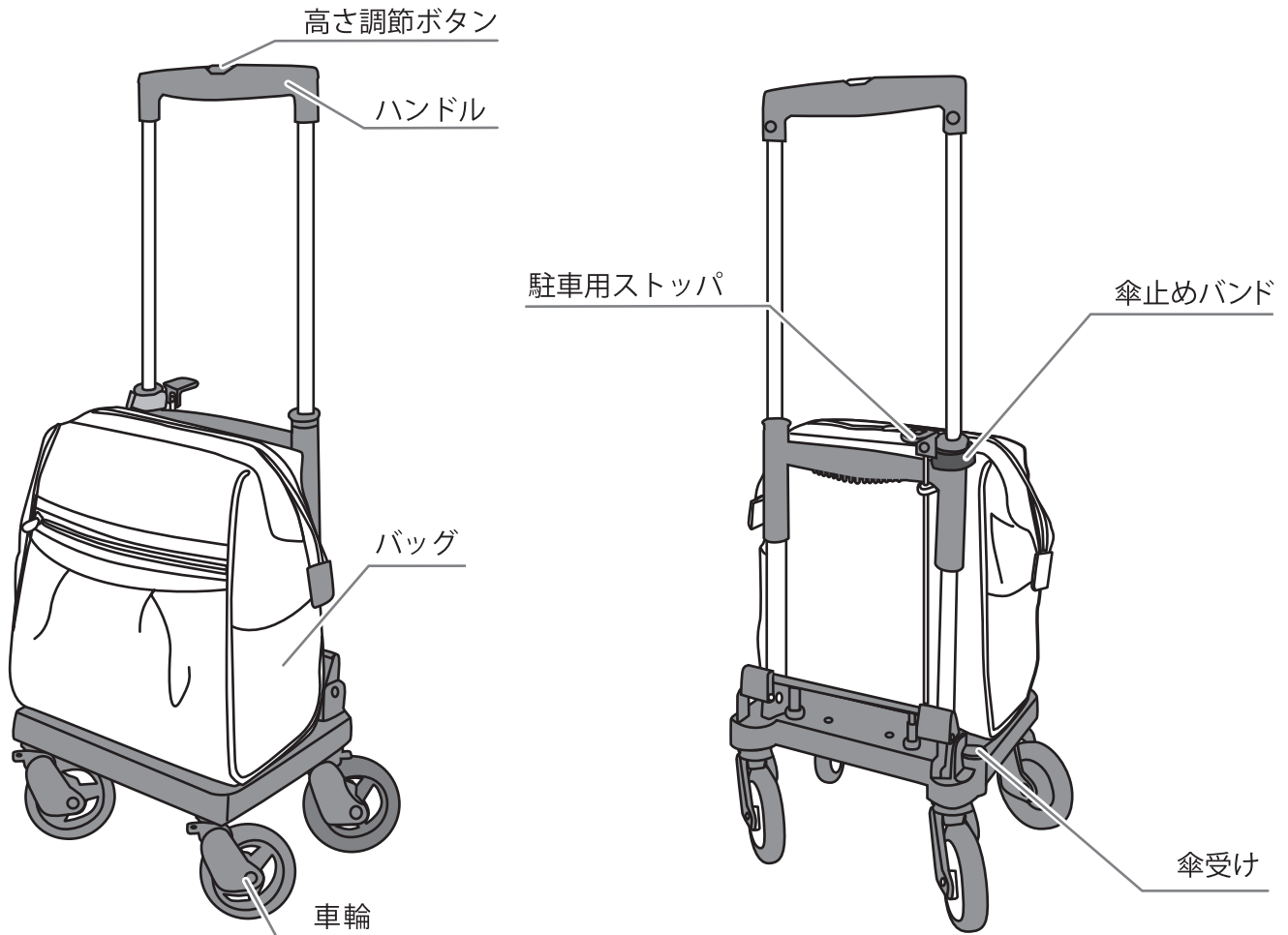
注意事項

- 用途以外(例えば、踏み台・いすなど)に使用しないでください。
- 本製品は四輪走行を主とした使用方法で作られています。二輪走行も可能ですが、車輪の片寄った摩耗や車体の破損につながる可能性がありますので、できる限り四輪走行でご使用ください。
- 片寄って荷物を入れると、バランスが悪くなり、転倒する恐れがあります。

ご使用上の注意 必ずお読みください。

- [点 検] ●組立て、調整は確実に行ってください。
(特にハンドブレーキや駐车用ストッパの性能、車輪の摩耗、製品を押しときのグラつき)
- 製品各部を点検し、ご自身で十分確認をしてください。
 - 車輪の摩耗等がないか点検し、必要に応じて交換をご購入販売店に依頼してください。
 - 各部のカシメ鉋・ネジなどが、緩んでいないかを確認してください。
- [使 用] ●車体から離れるときは、駐车用ストッパを必ずかけてください。駐车用ストッパは、水平なところで使用してください。
- 坂道での駐车用ストッパのご使用は、十分注意してください。万が一、坂道で駐车用ストッパをかける際は、車体が転倒する恐れがあるため、車体から離れないでください。
 - 操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
 - バッグに荷物を入れる際は6ページ記載 **7. バッグの使用について** を参照してください。
 - ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
 - 乳幼児・子供・動物をバッグ内に乗せないでください。また、ペットを本体につないで使用しないでください。
 - 階段や段差のあるところを移動するときは、段差部分に車輪やキャスターがぶつかり、破損する恐れがあるため、十分注意し、持ち上げるなどして使用してください。
 - ハンドルに過度に体重をかけると、転倒する危険性があるため、過度に荷重をかけないでください。
 - 左右の高さ調節部のピンが確実に固定されているかご確認ください。正しく固定されていないと、不意にハンドルが縮み、そのはずみで転倒の恐れがあり危険です。
 - ハンドルを収納するときは、指を挟まないように注意してください。
 - 火気の近くでは使用しないでください。
 - 航空機内への持込みは、各航空会社へお問い合わせしてください。
 - 製品を倒したりするとキャスター等の樹脂パーツが破損することがあります。ご注意ください。
- [使用後] ●この製品は防水加工されていませんので、雨の中に放置することは避けてください。
長時間の放置や雨ざらしにされますと、サビや劣化、破損の原因となります。
- 製品がぬれたときは、乾いた布で拭き取ってください。
 - 砂や泥などで汚れた場合は、そのまま放置せずに、必ず汚れを拭き取ってください。
 - バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
 - シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
 - 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転及び車体の組立て・折りたたみ操作を2～3回くりかえしてください。
 - 駐车用ストッパをかけた状態で保管された場合は、車輪が凹んでしまう恐れがあります。ストッパをかけない状態での保管をお勧めします。
- [保 全] ●火気の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
●非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- [廃 棄] ●各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

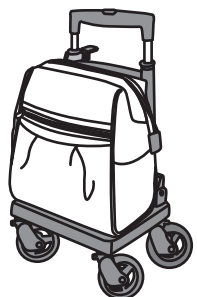
1. 各部の名称



2. 高さ調節と収納方法



収納時の状態



5段階の
ハンドル高さ

↑ 高・約 84 cm
・約 80 cm
・約 76 cm
・約 72 cm
↓ 低・約 68 cm
収納時・約 65 cm

- ハンドル中央にある高さ調節ボタンを深く押し、ハンドルを引き上げてください。高さは5段階で調節することができます。
- お好みの高さになったらボタンから指を離し、高さ調節部のピンがカチッと音が鳴って確実に穴にはまったことを確認してください。(高さ調節後のハンドル高は左図の『5段階のハンドル高さ』を参照してください。)

- 注** ● 正しく固定されていないと、ハンドルに上から力を加えたとき、ハンドルが不意に縮んでしまい大変危険です。

収納するとき

高さ調節ボタンを深く押し、ハンドルを一番下まで押し込み、カチッと音が鳴ることを確認し、収納してください。

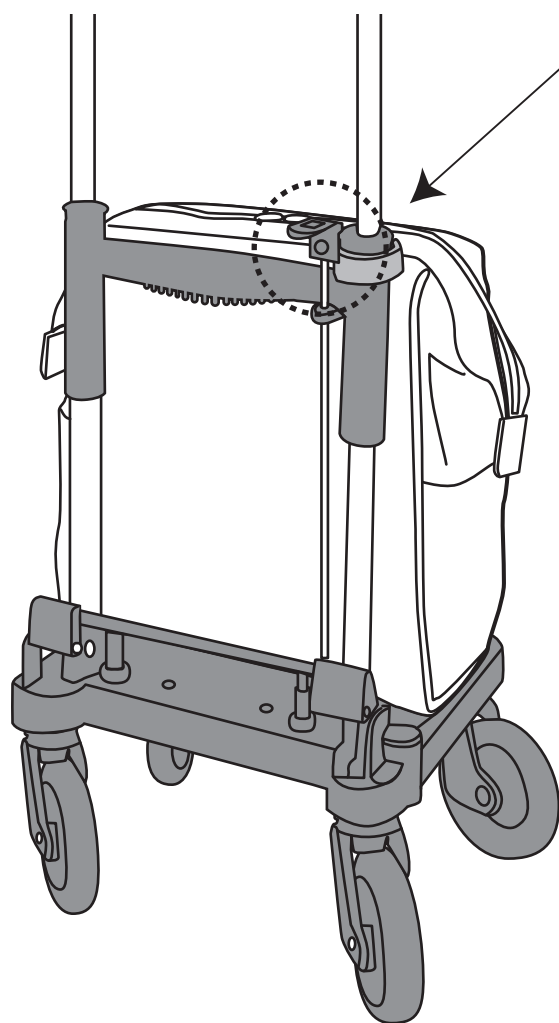
3. 使用方法



四輪を接地させ、体の斜め前で押す形でご使用ください。

- 注** ●二輪で引く形での使用も可能ですが、片寄った車輪の摩耗につながりますので、できる限り四輪での使用をお願いします。
- 二輪での使用をする場合、バッグや樹脂パーツが路面に触れ、破れたり、破損する場合がありますため、注意してください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び夜間の使用は十分注意してください。
- ハンドルに過度な荷重をかけると、転倒する危険性があるため、過度に荷重をかけないでください。
- 雨・雪・凍結など、滑りやすいところでは使用しないでください。

4. 駐車用ストッパの操作方法



荷物の出し入れなど、車体を止めるときは、車体の背面についている駐車用ストッパを下にさげてロックをかけてください。(背面側の車輪にストッパが効きます。前面の2つのキャスターにはロックはかかりません。)

駐車用ストッパを上にあげると背面の2つのキャスターのロックが解除され、フリー走行でご使用になれます。

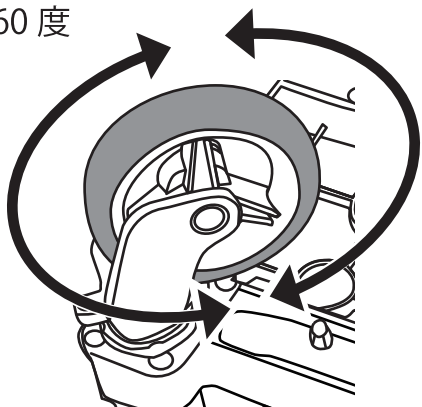
- 注** ●水平な地面でご使用ください。
- 駐車用ストッパは、車輪の回転のみを固定させるものであり、キャスターの旋回は固定されるものではありませんので、注意してご使用ください。
- 走行時は駐車用ストッパを上げてご使用ください。駐車用ストッパをかけたまま、ご使用されると、車輪の変形の原因になります。
- 坂道での駐車用ストッパのご使用は、十分注意してください。万が一、坂道で駐車用ストッパをかける際は、車体が転倒する恐れがあるため、車体から離れないでください。

5. キャスターの操作方法

四輪とも360度で旋回するキャスターです。

二輪で引いて使用することも可能ですが、できる限り四輪での走行をお願いします。

360度



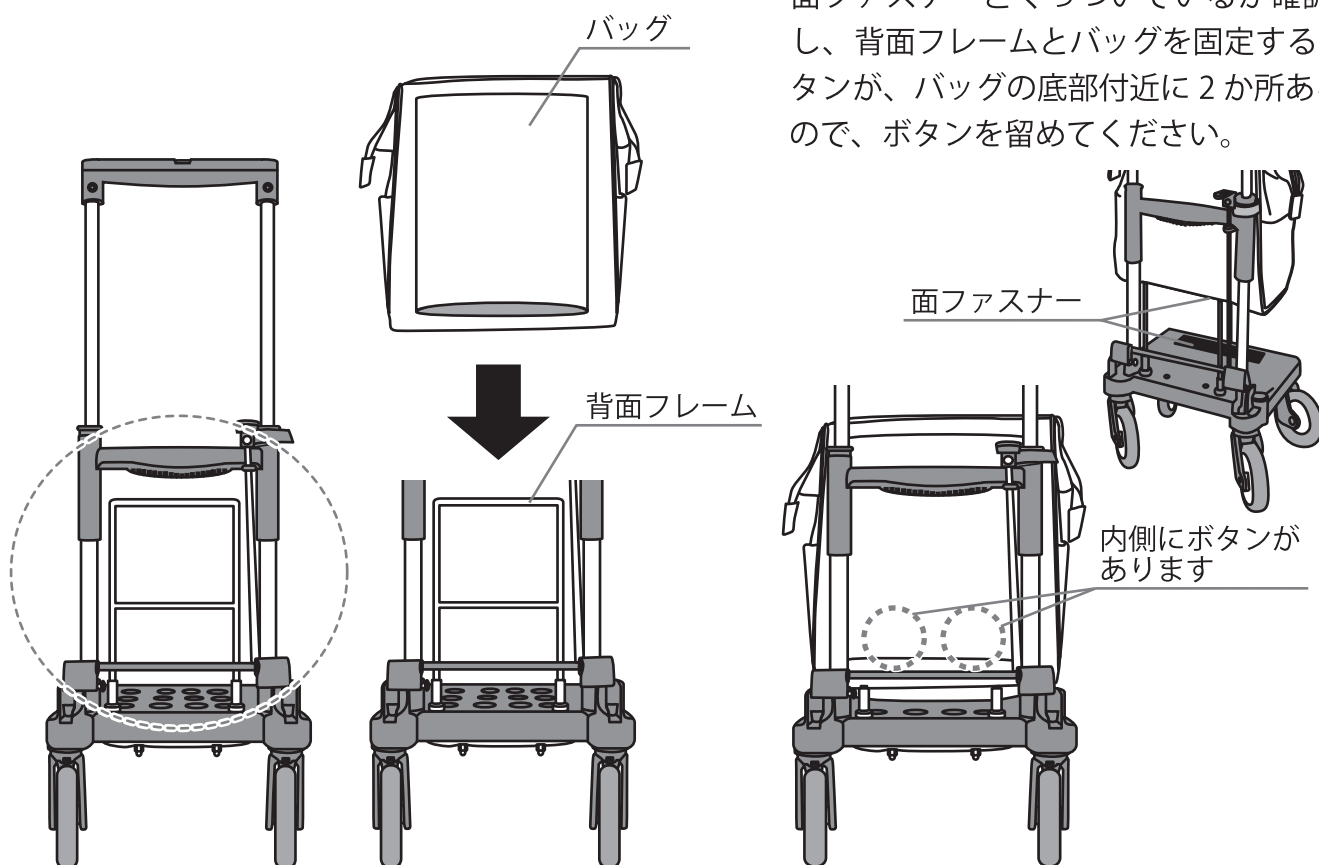
注

- 二輪での走行をする場合、バッグや樹脂パーツが路面に触れ、破れたり、破損する場合がありますため、注意してください。
- 二輪での走行に片寄ると、車輪の片寄った摩耗につながり、四輪での走行がしにくくなる場合があります。
- キャスターの破損等で、キャスターを交換する際は、ご購入販売店へお問い合わせください。
(車輪の交換はキャスター一式の交換となります)

6. バッグの取り付け方法

1. 本体の背面フレームにバッグの背面を差し込みます。

2. 奥までバッグを差し込んだら、バッグ底部についている面ファスナーが、台座の面ファスナーとくっついているか確認し、背面フレームとバッグを固定するボタンが、バッグの底部付近に2か所あるので、ボタンを留めてください。



※バッグを取り外すときは、逆の手順を行ってください。

注

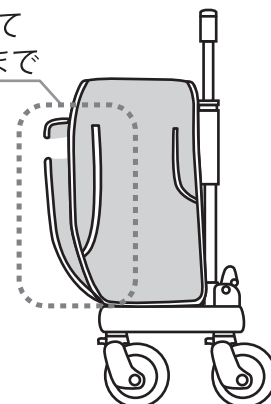
- 面ファスナーにほこりなどが付くと、外れやすくなりますので注意してください。
- 何度もバッグの取り付け、取り外しをされると、面ファスナーが弱くなる恐れがあります。

7. バッグの使用について

バッグに物を入れるときは、以下のことを必ず守ってください。
(バランスが悪くなり、転倒する恐れがあります)

- 6 kgを超える重さの荷物を、バッグに入れしないでください。
- バッグ正面の外側と内側にあるポケットには、合わせて1.5kg以上のものを入れしないでください。バランスが悪くなり、転倒する恐れがあります。
- 荷物はバッグの底部に収納してください。
- 荷物は片寄って入れないようにしてください。

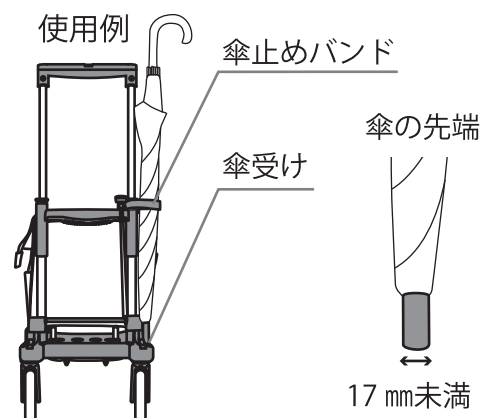
合わせて
1.5 kgまで



8. 傘止めバンドの使用法

本体背面の右側にある傘受けに、傘の先端を置き、パイプ上部に付いている傘止めバンドで傘を固定してください。

- 傘の先端の大きさが17mm以上のものはご使用になれませんので注意してください。



故障かなと思ったら…

状 況	原 因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	①ハンドルの高さ調節部が きちんと固定されていない	①取扱説明書の 2. 高さ調節と収納方法 をお読みになり、確実に高さ調節を行ってください
駐車用ストッパが利かない	①バネの劣化 ②車輪の摩耗、破損 ③連結部のサビ	①バネの交換 ②車輪の交換 ③潤滑油を注油する
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②キャスターの破損	①キャスターを手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②キャスターの交換
その他、車輪の交換や車体の破損など		ご購入販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN VIETNAM 30.06



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書